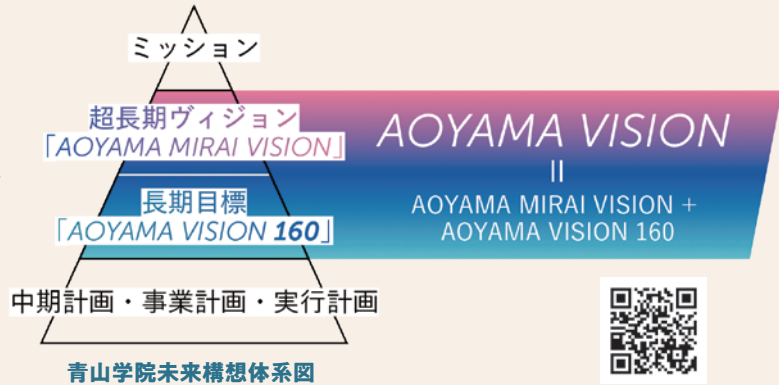


AOYAMA VISION

すべての人と社会のために未来を拓くサーバント・リーダーを育成する総合学園

青山学院が育むサーバント・リーダーは、自由で自立した存在として、
他者に仕えるとともに、互いの価値を見出し、
それを他の価値とつなぐことによって新しい時代を創造します。

青山学院は、キリスト教信仰にもとづくミッションをいはずえに、「AOYAMA VISION」に掲げた「サーバント・リーダーの育成」をさらに推し進めるため、30年後の青山学院の未来像「AOYAMA MIRAI VISION」と、そこからバックキャストした今後10年でやるべきこと「AOYAMA VISION 160」を策定し、創立150周年記念式典(2024年11月)にて発表しました。AOYAMA VISION 160の実現に向けて、具体的な計画が2025年度より始動しています。



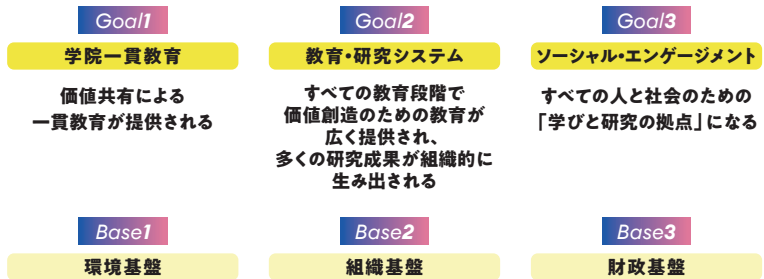
詳細はこちら

「AOYAMA MIRAI VISION」超長期ビジョン(30年)

30年後も青山学院が社会に求められ続ける学校であるために、2つのことを確認しました。ひとつは今後、社会がどのように変化しても、「青山学院」として存続する限り変えてはいけないもの。ふたつは、社会変革・社会のニーズを捉えて、教育機関として変えていくもの。これらを背景として、青山学院が30年後に目指すありたい姿・あるべき姿「AOYAMA MIRAI VISION」を策定しました。その柱となるのは、教育・研究の3つのGoalとそれらを支える3つの基盤(Base)「3 Goals & 3 Bases」です。

3Goals & 3Bases

—教育・研究の3つのGoalと、3Goalsを実現するための3つの基盤(Base)—



「AOYAMA VISION 160」160周年に向けた長期目標(10年)

30年後を見据えた超長期ビジョンを実現するため、この10年で取り組むべき目標を策定しました。青山学院全体で重点的に取り組む目標や学院内のすべての学校に共通する目標を設定した「学院目標」と、これに沿って各設置学校等が策定した「個別目標」で構成されています。

サーバント・リーダーを育成する4つの教育要素

「サーバント・リーダー」は青山学院の一貫教育が目指す人物像です。青山学院では、「キリスト教教育」「国際教育」「先端科学教育」「想像&創造教育」の4つを「サーバント・リーダー」を育成する教育要素とし、これらの教育をすべての設置学校で共有、実践していきます。

